

関東大学サッカーサポーターズクラブ

サポーターズクラブ会員



年会費 継続：2,500円
新規：3,000円

会員限定 HP の閲覧

シーズンパス会員



年会費 5,000円

年間のリーグ戦が無料で観戦可能

同時入会会員



年会費 継続：7,000円
新規：7,500円

同時入会だとさらにお得！

色紙
プレゼント

→中大座談会の様子



中大・駒大座談会
更新
←駒大座談会の様子

入会方法の詳細は、関東大学サッカー連盟公式 HP 内右上にあるサポーターズクラブ欄をご覧ください。

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-10-15 JFA ハウス 7F

(一財)関東大学サッカー連盟 関東大学サッカーサポーターズクラブ

E-mail:kuss@jufa.jp TEL:03-3830-1850

「アミノバイタル」カップ2015

第4回関東大学サッカートーナメント大会【結果】

優勝：明治大学（2年ぶり2回目）

準優勝：筑波大学

3位：流通経済大学

4位：法政大学

5位：東洋大学

6位：専修大学

7位：平成国際大学

★以上の7大学は関東代表として8月7日から行われる第39回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメントに出場します。

WELCOME イベント新景品登場

ご来場回数ごとに景品・応募権が GET できるお得なイベント「WELCOME イベント」に新景品が登場しました。

サッカー観戦時に必須アイテム、

「クッションシート」。

スタンプが5個貯まった方はミカサバグかクッションシートを選んでいただけます。無くなり次第終了となりますのでお早めに♪

※スタンプカードは後期も継続してご利用いただけます。



JR 東日本カップ 2015 第 89 回 関東大学サッカーリーグ戦



OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM VOL.23-NO.11 Division 1



発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：加茂 郁実・関東大学サッカーサポーターズクラブ

国士大が首位をキープ！このまま前期リーグ折り返しなるか？

間に『アミノバイタル』カップ2015第4回関東大学サッカートーナメント大会』を挟み、ついに前期リーグも最後の試合を迎えることとなった。その前に、『JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦』第 10 節の結果を振り返ってみよう。

早大対駒大の一戦は、序盤から早大が積極的に仕掛け先制し、その 1 点を守り切った勝ち点を積み上げた。続いて行われた専大対中大の試合では、矢島(2年)の 2 戦連続ゴールにより中大が先制。しかし後半に入 2 点を返した専大が、逆転勝利で勝ち点 3 を手にした。首位・国士大を負う流経大は、調子をあげてきた法大と対戦。流経大は開始早々にゴールを決めると、その後もエース古波津(4年)が追加点を決めて、白星を挙げた。慶大対桐蔭大戦は、開始からわずか 10 分の間に慶大が 2 点を挙げた。桐蔭大も 1 点を返すがそのまま試合は終了し、桐蔭大は 5 戦連続で最下位という厳しい結果となった。明大と首位・国士大の一戦では

得点ランキング

矢島 真一(中大)	10点
松本 孝平(国士大)	7点
藤本 佳希(明大)	5点
以下4得点5名	

アシストランキング

荒木 翔(国士大)	6アシスト
平野 篤志(駒大)	5アシスト
新里 涼(明大)	5アシスト
以下3アシスト2名	

両者均衡した状態が続くも、後半に入ったところで国士大が得点を挙げて首位を堅守。順大と神大の対戦は、開始早々に神大が先制点を挙げるも、順大もすぐに 1 点を返して勝ち点を分け合う結果となった。

いよいよ前期リーグも最後の試合となる第 11 マーク。桐蔭大も 1 点を返すがそのまま試合は終了し、桐蔭大は 5 戦連続で最下位という厳しい結果となった。明大と首位・国士大の一戦では

の熱い戦いに乞うご期待だ。

JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦 1 部 星取表

[1部第10節終了時]

チーム名	国士	流経	慶大	順大	法大	早大	専大	明大	駒大	中大	神大	桐蔭	勝点	試合数	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差	順位
国士大学		001		010	201	001	003	100	201	701	100	601	19	10	6	1	3	19	9	10	1
流通経済大学	100		111	102	200	100	111	111		201	111	400	19	10	5	4	1	15	7	8	2
慶応義塾大学		111		111	300	001	103	201	201	111	010	201	16	10	4	4	2	13	10	3	3
順天堂大学	010	201	111		102		100	203	102	201	111	100	15	10	4	4	3	12	11	1	4
法政大学	102	002	003	201		200	100	203	402	001		301	15	10	5	0	5	15	15	0	5
早稲田大学	100	001	100		002		010	201	100	104	111	111	15	10	4	3	3	8	10	-2	6
専修大学	300	111	301	001	001	010			111	201	010	001	13	10	3	4	3	10	7	3	7
明治大学	001	111	102	302	302	102			111	203	201	111	12	10	3	3	4	15	16	-1	8
駒澤大学	102		102	201	204	001	111	111		201	102	201	11	10	3	2	5	13	16	-3	9
中央大学	107	102	111	102	100	401	102	302	102			111	11	10	3	2	5	15	20	-5	10
神奈川大学	001	111	010	111		111	010	102	201	111		002	9	10	1	6	3	7	10	-3	11
桐蔭横浜大学	106	004	102	001	103	111	100	111	102			200	8	10	2	2	6	9	20	-11	12

サッカー部はジールで決める!

体育会系学生就職支援企業
Zeal Athlete Agency



体育会生のための
リクナビ就職エージェント

悩むより、走り出そう。

部活と就活にエールを送る! 体育会生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

駒澤大学 VS 流通経済大学

8月13日(土)
13:50
流経大

9位と低迷している駒大。10試合で16失点と守備が安定しない。リーグ中断期間中に行われたアミノバイタルカップでも、1回戦こそ東国大に2-1の勝利を取めたが、2回戦で専大に0-2の敗戦。総理大臣杯の出場権を逃した。一方で、この試合に向けた準備期間は十分にあった。粘り強い守備をベースにした駒大らしいサッカーを披露したい。

現在2位。首位の国士大と同勝点と好調の流経大。7失点とリーグ最少失点の守備は見事の一言。リーグ期間中であっても、Jリーグチームと練習試合を重ね、ときには練習試合を含めて3試合連続で試合をこなすハードな日程も乗り越えて力強さを身に付けてきた。アミノバイタルカップも3位とまずまずの結果。前期リーグを首位で折り返せるか!?

3回警告: なし
出場停止: なし
昨年度の対象: 駒大3-0流経大/駒大2-2流経大

吉岡雅和(駒大・MF・3年)

前半早くも失点してしまったが、後半はDFが頑張ってくれて0-0で抑えられた。ディフェンス面は良くなくてきていると思う。

攻撃面は、自分も含め点を取ることが課題だと感じた。流経大は自分たちより上位にいるチームなので、勝って上位陣との差を縮めて後期へ良い形で繋げられるようにしたい。



塚川孝輝(流経大・MF・3年)

今日は退場明けの復帰戦だったので絶対に勝つと意気込んで試合に臨んだ。早い時間帯の得点はチームにも勢いにもなった。セカンドボールを拾って攻撃につなげることを意識して、前期1位で終わってシーズンを折り返したい。



桐蔭横浜大学 VS 中央大学

8月13日(土)
13:50
日体大

現在、最下位と苦しんでいる桐蔭大。混戦リーグだけでなく、残留争いをそれほど意識する必要もないが、20失点とリーグ最多タイの失点数だけに守備面の修正が急務。アミノバイタルカップでも2部の拓大に1-1と苦しい。PK戦の末に2回戦に勝ち進んだが、その2回戦で法大に0-3の敗戦。打開策を見ないまま来シーズン最終戦を迎えるが、後期リーグにつながるためにも、しっかりとした戦いを見せたい。

リーグ戦10位、アミノバイタルカップも1回戦で朝鮮大に1-2の敗戦と元気がない中大。こちらも20失点とディフェンスが不安定だ。一方で、攻撃面では15ゴールと決して悪い数字ではないだけに、守備の徹底したいでは十分に勝利の可能性はある。打ち合いになれば、攻撃力のある中大に分がある。

3回警告: なし
出場停止: 石川拓磨(中大)
昨年度の対象: 桐蔭大1-3中大/桐蔭大1-2中大

山下優人(桐蔭大・MF・1年)

初先発ということで得点できたのはよかったが、チームとしての結果が出なかったのが残念だ。自分たちが何が足りなかったかを考え、勝ち点3を取りに行きたい。



翁長聖(中大・FW・3年)

個人的には、走れていなかった。全体的に前からいきたいのかハッキリせず、守備のところが全然できていなかったのが敗因だと思う。

点を取っていないので、点を取って勝ちたいです。



国士舘大学 VS 慶應義塾大学

8月13日(土)
13:50
京國大

流経大と同勝点ながら首位の国士大だが、こここのころ少し元気がない。10節では明大を1-0で下したが9節では専大に0-3の完敗。アミノバイタルカップでも2回戦で東洋大に1-1のPK戦で敗れ、総理大臣杯の出場権を手にするこができなかった。好調だったリーグ最多得点の攻撃陣に元気がないのが気がかり。首位で前期リーグを折り返すためにも非常に重要な一戦だ。

対する慶大にとっても勝てば勝点で国士大に追いつくだけに大事なゲームだが、こちらもアミノバイタルカップでは1回戦で明学大に2-2(PR1-2)で敗れた。リーグ戦では10試合を戦って複数失点は専大戦の3失点だけだったが、明学大相手に2失点は修正しなければならない。大事な試合で勝ちきれぬかどうか真面目に問われる。

3回警告: 澤淵雄志、端山豪(慶大)
出場停止: なし
昨年度の対象: 国士大0-0慶大/国士大1-1慶大

清水和敏(国士大・MF・3年)

前半は相手に支配されていたが、後半は国士の攻撃のリズムがでてきた。途中出場だったが、結果的に点を決めて相手に0に抑えて勝つことが出来た良かった。

ゴールしたことに満足することなく、スタメンで出られるように練習からしっかりとアピールしたい。前期最終戦に勝って、首位で後期を迎えられるように頑張りたい。



小谷春日(慶大・MF・1年)

最近勝っていなかったため、食欲に勝ち点3を取りにいけた試合だった。得点シーンは、味方がボール持った自分から向くという練習をしていた形だったので、それが再現できてよかった。

次節が後期に向けても上位に食い込めるターニングポイントなので、また勝って関東リーグ制覇という目標を達成したい。



順天堂大学 VS 早稲田大学

8月14日(日)
13:50
早大

4位の順大だが、首位の国士大との勝点差は4ポイントと少し離されてしまった。一方でアミノバイタルカップも1回戦で平国大に0-1の敗戦。全国優勝を目標にスタートもできた今シーズンだったが、関東予選でその夢が潰れた。それだけに、リーグ優勝にやる思いは強い。上位をしっかりとキープし、優勝はもちろん、インカレ出場権を手にはしなければならぬ。

2節から7節まで勝ち星がなく苦しんでいた早大だったが、8節以降は3連勝を取り戻し、順位も6位まで上げて首位の国士大との勝点差は4ポイントと射撃圏内に取れた。ただ、アミノバイタルカップ2回戦で筑波大に1-2と敗れたのが気がかり。まだ試合によって波があるだけに、この試合で早大らしさが発揮できるかどうか。

3回警告: なし
出場停止: なし
昨年度の対象: 順大0-0早大/順大0-0早大

吉永哲也(順大・DF・4年)

立ち上がりに簡単に失点してしましたが、1試合通してみてもあのような失点もついていたんじゃないと思う。

1回切り替えて、臨みたい。



宮本拓弥(早大・FW・4年)

厳しいゲームだったが、勝てたので良かった。山内(寛史選手 3年)からとても良いパスが来て、トラップもうまくいったので良い得点になったと思う。

勝てば上位に食い込める。勝つための練習をしていきたい。



専修大学 VS 明治大学

8月14日(日)
13:50
京南大

開幕から4試合勝ちがないなど、5連勝を目指す専大の元気のなさが心配されたが、9節から2連勝とようやく調子が戻ってきた。それはアミノバイタルカップをみてもしっかりと、3回戦で流経大に0-2と敗れたものの、順位決定戦ではリーグ戦で0-0の引き分けに終わった専大を2-1で下した。全体的に攻撃陣に元気が出てきた印象だ。

一方の明大も開幕3連勝から一転、その後は7試合未勝利と長く苦しいトンネルが続いていたが、アミノバイタルカップでは優勝。決勝までの5試合はいずれも無失点と安定したディフェンスが戻ってきたのが大きい。首位の国士大との勝点差は7ポイント差。後期リーグの強さには定評があるだけに、逆転優勝するためには少しでも差をつめておきたいところだ。

3回警告: 小出悠太(明大)
出場停止: なし
昨年度の対象: 専大1-1明大/専大1-3明大

佐野弘貴(専大・MF・4年)

なかなかチームが勝てない状態で出場するチャンスももらったので、絶対に勝つと思って試合に臨んだ。キャプテンの萩岡(大樹選手 4年)を中心に本音でミーティングを行って、最近は全員で前を向けてきていると思う。明大は日本選抜の選手も多いということもあって負けたくない。勝って前期リーグを終りたい。



高橋誠(明大・DF・4年)

一試合を通して自分達のペースで攻めることが出来たと思うが、決めることで決められないことで苦しい展開になった。ずっと攻めていて、ちょっとした隙を突かれた試合だったと思う。

7試合勝ちがないので、次の専大戦では絶対に勝って、チームに勢いを取り戻せるよう頑張りたい。



法政大学 VS 神奈川大学

8月14日(日)
13:50
湘南大

今シーズン、1部に昇格した法大だが、まずまずの結果を残している。リーグ戦は5位で首位との勝点差は4ポイント。アミノバイタルカップでは準決勝で明大に0-1の敗戦を喫してしましたが、どのチームとも互角に戦えることを証明した。今季は大混戦のリーグとなっているだけに、このまま好調を維持できれば、リーグ優勝の可能性も見えてくる。

一方、こちらも今シーズン1部に復帰した専大が11位と苦しんでいる。ただ、アミノバイタルカップでは3回戦まで進出。3回戦で筑波大に3-5、順位決定戦では専大に1-2、平国大に0-0(PR3-5)とまだ勝ち切れない部分もあるが、チームの調子は上向きだ。完封できる試合も増えてきているだけに、守備の安定が試合を左右するだろう。

3回警告: 菊地佑太(神大)
出場停止: なし
昨年度の対象: 法大1-3神大/法大3-1神大

黒柳敏(法大・MF・3年)

前半の立ち上がりには隙がありました。先に失点してしまったことが大きかった。長山監督からは「入ってから集中しろ」と言われていたので、それを意識した。

連敗をしないように、チーム全体で切り替えてやっていきたいと思っています。



菊地佑太(神大・MF・3年)

勝ちたかったが、負けなかったことはポジティブに捉えたい。失点は少ないが得点力が足りないので、前線の選手として責任を感じている。

次節でリーグ戦は中断するので、最後は勝ち点3を取って気持ち良く終わりたい。

